

# 1年次入学対象の新カリキュラム

インテリアプロダクトや造園・ランドスケープのカリキュラムが開講

2026年  
4月入学生から  
スタート!

## 建築学科

通信教育部の卒業に必要な単位数は、下記の表を参考にしてください。

### 卒業要件単位数・費用等

(入学年次に関する詳細は学生募集要項P9～でご確認ください。)

#### 1年次入学の場合

総合教育科目  
20単位

+

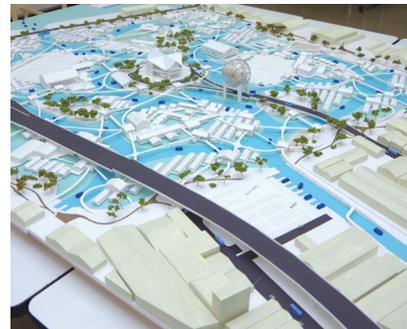
専門科目  
44単位

+

自由選択科目  
60単位

=

124単位  
スクーリング 86日間  
4年間 1,377,000円



写真はイメージです。

### 建築学科

配当年次	必須区分	科目名	授業形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
1年次	必須	建築一般構造	講義	建築構造の概要、木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造などの構造材料、建築の仕上げなど建築設計の基本的事項について学ぶ。	4		4
		建築設計実習I	実習	点と線を描く練習から開始し、平面図、立面図、断面図、矩計図、伏図、配置図などの実例模写などを通して、建築製図の基本技術を身につける。	2	2	4
	選択	建築史I	講義	古代から近代に至るまで、日本に生まれ発展した建築技術、意匠、造形の特色と変遷の過程を理解し、多様な時代、地域の文化を考えていく。	2		2
		住居論	講義	歴史的視点、地域的視点、階層的視点から住居論を考察。そのうえで現代の住空間のあり方を学び、生活空間の建築計画上の基本事項を修得する。	4		4
		インテリアデザイン論	講義	「レジデンシャルデザイン」と「コントラクトデザイン」「商業デザイン」。3つの用途、考え方に立ったインテリアデザインを学ぶ。	4		4
		建築造形演習	演習	空間の想像力、構成力及び造形感覚を養い、建築造形の表現・技術の手がかりとしての演習を行う。		2	2
		インテリアデザイン演習I	演習	敷地・住人像を具体的に設定して、居住空間のインテリアデザインを行う。PCソフトを使ったプレゼンテクニックの向上をめざす。		2	2
		CAD演習I	演習	手描きとCADとの製図の仕方の違いを理解し、2次元図面(平・立・断面図)と3次元モデリングの基本を修得する。		2	2
2年次	必須	建築構造力学	講義	建築の構造や技術用語、建築構造に使用される幾何学的形態など建築構造の基礎知識を修得。さらに静定構造を例に建築構造力学を学ぶ。	4		4
		施工	講義	手作業から、技術の進歩、工法の改良によって機械化された方法や新しく開発された材料など各工事ごとの施工法の基本を修得する。	2		2
		材料	講義	「およそ型あるものは何でも建築材料となる」ことを念頭に、構造材と仕上材2つの建築材料についての性質、判別、使用方法を修得する。	2		2
		建築環境工学	講義	室内環境にとどまらず、建築そのものとその周辺の都市環境、さらには地球環境へ及ぼす影響まで含めて建築と環境の関係を考察する。	2		2
		建築構造演習	演習	通信授業である「建築構造力学」を補完するために行う。前半では主に応力の計算まで、後半では部材の安定性の検討までを修得する。		2	2
		建築法規	講義	建築物の安全性及び防火、避難などの技術基準や、都市計画区域における建築制限、さらに都市計画法など建築関連法規の知識を修得する。	4		4

■概要については変更になる場合があります。

配当 年次	必須 区分	科目名	授業 形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
2 年次	選 択 必 須	建築設計実習Ⅱ	実習	基礎的な建築の知識、構成、表現をもとにした住宅の設計を通じて建築設計の基本技術を修得。同時に、住空間における今日的問題を考察する。	2	2	4
		環境計画実習Ⅱ	実習	建築や都市をアートの視点から創造する設計能力を育む。	2	2	4
	選 択	建築史Ⅱ	講義	西洋建築を古代オリエントからポストモダンまでの様式史の区分に従いながら解説。各様式の内容、伝播、各国による様式の違いを理解。	2		2
		都市設計論	講義	民家建築の見学と実測調査を行い、伝統的な日本の住空間に見る特色、及び木造構法についての理解を深める。	4		4
		建築演習Ⅰ	演習	民家建築の見学と実測調査を行い、伝統的な日本の住空間に見る特色、及び木造構法についての理解を深める。		2	2
		インテリアデザイン演習Ⅱ	演習	建築空間に設置する家具・照明器具をデザインする。模型作製(モノづくり)を通して、その仕組み・素材を学ぶ。		2	2
		CAD演習Ⅱ	演習	3次元モデルのレンダリングから始まり、CADソフト以外のソフトも使い、DTPによるプレゼンボード作成の基本を修得する。		2	2
		造園学	講義	造園学が取り扱う領域を幅広く学ぶことで我々の生活における造園の意義と役割を理解し、環境計画および建築の技術者として必須となる造園の基礎知識を修得する。	4		4
		ランドスケープ論	講義	ランドスケープのデザインとは自然に美を見だし、人間の想像力で快適な環境、楽園を創造するという芸術である。この授業では、学んだことをもとにランドスケープを自由に表現する作品に取り組んでいただく。	4		4
		インテリアプロダクト演習1	演習	材料(合板など)をある程度限定した上で、イメージしたインテリアの中で使用が想定されるスツールなどの家具を制作する。		2	2
		インテリアプロダクト演習2	演習	材料(スチールなど)をある程度限定した上で、イメージしたインテリアの中で使用が想定されるテーブルスタンドなどの照明を制作する。		2	2
		インテリアプロダクト演習3	演習	3Dプリンターやレーザー加工機によるオリジナルのミニチュア家具を制作する。		2	2
	3 年次	選 択 必 須	建築設計実習Ⅲ	実習	実習Ⅰ・Ⅱで修得した知識をもとに公共性の高い建築物を計画設計する。	2	2
環境計画実習Ⅲ			実習	分析力・企画力の強化、表現技法の応用と完成を目指す。	2	2	4
選 択		建築演習Ⅱ	演習	階段の構造・デザインについて学ぶ。その上で特色ある現代建築を見学し、階段を含む空間構成について考察する。		2	2
		建築設備	講義	給水設備や排水設備など、建物を生活の場として機能させるために必要な各設備の基本計画、設計、施工の基礎知識と実践までを学ぶ。	4		4
		測量演習	演習	測量の目的と理論や方法を理解し、測量機具の取扱方法の修得、測量機具による敷地面積の求め方、高低測量の知識と技術を修得する。		2	2
4 年次	必 須	卒業設計・論文	卒業	1～3年次までの実習の総まとめとして各自でテーマを設定したうえで、コンセプト・計画条件の提案を試み、作品としてまとめる。提出物は設計・論文のいずれかとする。		4	4
	選 択 必 須	建築設計実習Ⅳ	実習	今までの実習経験を踏まえて、各自でテーマを設定し、次の卒業制作の準備に相当する作業を行う。		2	2
		環境計画実習Ⅳ	実習	今までの実習経験を踏まえて、各自でテーマを設定し、次の卒業制作の準備に相当する作業を行う。		2	2
	選 択	建築設計実習Ⅴ	実習	実務で要求される実施設計図の描き方について学習する。地域における公共施設のあり方とその構成について理解を深める。		2	2
単位数 計					56	44	100

■概要については変更になる場合があります。